



第 29 回 臨床神経生理研究会 プログラム・抄録集

日時: 平成 29 年 8 月 5 日 (土) 13 時 ~ 17 時 30 分

会場: 鹿児島市民文化ホール 4 階 市民ホール

代表世話人 九州大学 医学研究院 臨床神経生理 飛松 省三
当番世話人 鹿児島大学 神経内科 中村 友紀、吉村 道由

2017年8月5日(土)

会場： 鹿児島市民文化ホール 4F 市民ホール

12:00～13:00 受付開始

鹿児島市民文化ホールへ直接お越しください。

13:00～14:00

特別講演①

座長: 有村 公良 大勝病院 院長

「神経筋エコーの役割」

帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科 准教授 塚本 浩 先生

休憩 (14:00～14:15)

14:15～15:15

ハンズオンセミナー

司会: 中村 友紀、吉村 道由

鹿児島大学 神経内科

「神経筋エコー」

帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科 准教授 塚本 浩 先生

休憩 (15:15～15:30)

15:30～16:30

特別講演②

座長: 衛藤 誠二

鹿児島大学 リハビリテーション科

「脊髄機能 その評価と治療による変化 - 臨床神経生理学の観点から -」

東海大学 医学部専門診療学系 リハビリテーション科学 教授 正門 由久 先生

16:30～17:30

臨床検査技師・若手医師向けハンズオン

- ✓ 誘発電位 (体性感覚誘発電位: 上肢・下肢、聴性脳幹反応)

九州大学 医学研究院 臨床神経生理 飛松 省三 先生

- ✓ 神経伝導検査 (uncommon nerve も)・反復刺激検査

鹿児島大学 神経内科 中村 友紀、吉村 道由

【特別講演①・ハンズオンセミナー】

神経筋エコーの役割

帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科 准教授 塚本 浩

高周波リニアプローブを用いた超音波検査は末梢神経・筋を含む軟部組織の描出に優れている。神経筋エコー(US)は末梢神経・筋の形態を非侵襲的に繰り返し簡単に評価できる点で優れており、機能検査である電気生理検査と相補的に作用するため、併用することで正しい診断を導くための強力なツールとなりうる。

末梢神経エコーの異常所見として重要なのは断面積の増大である。手根管症候群や肘部尺骨神経障害などの圧迫性ニューロパチーでは圧迫部位のやや近位側に神経腫大を認める。慢性炎症性脱髄性多発根神経炎でも病理学的所見と同じく末梢神経の腫大を特徴的所見として認める。一方、筋萎縮性側索硬化症では末梢神経・頸部神経根の萎縮を認める傾向にある。

多発筋炎においては筋エコーで筋輝度上昇を認める。筋輝度上昇は筋エコーの特徴的異常所見であるが、種々の筋疾患で認められる非特異的異常所見である。病状の進行により脂肪変性が生じると逆に筋輝度はやや低下する。

【ご略歴】

- 平成 13 年 帝京大学医学部 卒業帝京大学医学部
神経内科 研修医
- 平成 19 年 帝京大学医学部大学院博士課程修了（医学博士）帝京
大学医学部 神経内科 助手
- 平成 24 年 帝京大学医学部 神経内科 助教
Università Cattolica del Sacro Cuore, Roma 留学
- 平成 25 年 帝京大学医学部 神経内科 助教
- 平成 26 年 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科 准教授

【所属学会】

- 日本神経学会（専門医）
- 日本臨床神経生理学会（筋電図・神経伝導分野、脳波分野 専門医）
- 日本内科学会（認定内科医）
- 日本脳卒中学会（脳卒中専門医）
- 日本リハビリテーション医学会（リハビリテーション専門医）
- 日本体育協会認定スポーツドクター、日本障がい者スポーツ協会認定障がい者スポーツ医

【特別講演②】

脊髄機能 その評価と治療による変化 –臨床神経生理学の観点から–

東海大学 医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学 教授 正門 由久

臨床神経生理学は、脳から脊髄、末梢神経、筋に至る広い範囲の機能とその病態を生理学的に研究する学問である。それにより、診断、評価、さらには治療にも役立つ学問である。今回はその中で、脊髄機能の評価として、臨床神経生理学の観点から、運動機能の中では大変重要な機能である相反性抑制の一旦を担う Ia 抑制介在細胞回路について述べたい。

動物実験からその存在が明らかにされた Ia 抑制介在細胞は、脊髄に存する介在細胞であり、ヒトでも H 反射を用いて、その活動状態を評価することができる。それはリハビリテーション医学では、脳卒中片麻痺への電気刺激による上肢機能障害への効果や“新しい刺激方法”による歩行障害への効果は、相反性抑制の改善を生じさせ、脊髄の Ia 抑制回路の効率が改善しているのが明らかとなっている。本講演では、以上について述べたい。

【ご略歴】

昭和 57 年 慶應義塾大学医学部 卒業
平成元年 米国ボストン大学 神経筋研究所
平成 5 年 慶應義塾大学 医学部リハビリテーション科 専任講師
平成 13 年 デンマーク王国コペンハーゲン大学 パナム研究所 医学生理学教室 神経生理学部門
平成 15 年 慶應義塾大学 医学部・月が瀬リハビリテーションセンター 助教授
平成 20 年 東海大学 医学部専門診療学系 リハビリテーション科学 教授

【所属学会】

日本臨床神経生理学会（総務理事、代議員、専門医（筋電図・神経伝導分野、脳波分野）
第 47 回学術大会会長（パシフィコ横浜：2017 年 11 月 29 日から 12 月 1 日）
日本リハビリテーション医学会（理事、代議員、指導医、専門医、認定臨床医）
第 3 回秋季学術大会 会長（2019 年 11 月）
米国神経筋電気診断医学会（AANEM）（正会員、専門医（ABEM））
日本ボツリヌス治療学会（理事）
第 4 回学術大会会長（東京コンベンションホール：2017 年 9 月 29 日から 30 日）
日本運動療法学会（常任理事）、日本義肢装具学会（評議員）、日本高次脳機能障害学会（評議員）
日本脳卒中学会（学会誌編集委員会編集委員）、日本末梢神経学会（評議員）など

【臨床検査技師・若手医師向けハンズオン】

- ✓ 誘発電位（体性感覚誘発電位：上肢・下肢、聴性脳幹反応）

九州大学 医学研究院 臨床神経生理 飛松 省三 先生

- ✓ 神経伝導検査（uncommon nerve も）・反復刺激検査

鹿児島大学 神経内科 中村 友紀、吉村 道由

全くの初心者の方から、すでに自分で検査を行っている方まで、全ての方が対象です。検査にあたっての日頃の疑問や検査のコツなど、何でもお答えします。

神経伝導検査では、ルーチン以外の uncommon な神経の測定方法まで、日頃のオーダーで困っている検査項目があれば、可能な限り対応いたします。